

「たわらノーロード」みなさまに愛されて、5周年 ～純資産総額がシリーズ合計で2,500億円超に！～

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野暁）が設定・運用している「たわらノーロード」は、2020年12月で5周年を迎え、シリーズ純資産総額が、2020年12月28日に2,500億円を超えました。

「たわらノーロード」は、2015年12月に6本のファンドでスタートしました。以来、お客さまのニーズにお応えしさまざまな“たわら”を設定し、最初に運用をスタートした「たわらノーロード 日経225」の設定から5周年を迎えることができました。そこで、お客さまへの感謝の気持ちを込めて『[たわらノーロード 5周年記念ページ](#)』を公開しました。5年間のあゆみを、動画や年表などでご紹介します。

「たわらノーロード」のラインナップは34本^{*}となり、そのうち「たわらノーロード 日経225」をはじめとする15本^{*}が「つみたてNISA」対象の商品となっています。「たわらノーロード」の取扱い金融機関は約200社^{*}となり、お客さまに身近なファンドシリーズとなりました。^{*}2020年12月30日現在

「たわらノーロード」は低コストで高品質なインデックスファンドを、資産形成をお考えの皆さまにご提供したいとの思いからスタートしました。今後も運用に関し一層の努力をまいります。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



- たわらノーロード 5周年記念ページ
- たわらノーロードスペシャルサイト

<http://www.am-one.co.jp/pickup/tawara-5nen/>
<http://www.am-one.co.jp/pickup/tawara/>



選んで、積んで、
一つでもいくつでも、
あなた次第。

資産づくりに、
アセットマネジメントOneの「たわら」。

【投資リスク、費用】

各ファンドは実質的に、株式や債券、リートなどの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資します。このため、ファンドは、株式・債券・リート市場の変動、不動産等の価値や賃料収入等の変動、金利の変動、為替相場の変動、組入る有価証券等の発行者にかかる信用状況の変化、市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること、個別銘柄の選択による株式市場全体の動向との乖離、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等の影響、資産配分リスクにより、組入れた有価証券等の価値が下落し、基準価額が下落することがあります。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

■ ファンド一覧と投資リスク ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。基準価額の変動要因は、次に限定されるものではありません。

	株価変動リスク	流動性リスク	信用リスク	金利リスク	為替変動リスク	リーートの価格変動リスク	個別銘柄選択リスク	カントリーリスク	資産配分リスク
たわらノーロード 日経 225	●	○	○	○					
たわらノーロード TOPIX	●	○	○	○					
たわらノーロード 先進国株式	●	○	○	○	○				
たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>	●	○	○	○	○				
たわらノーロード NYダウ	●	○	○	○	○				
たわらノーロード 全世界株式	●	○	○	○	○			○	
たわらノーロード 新興国株式	●	○	○	○	○			○	
たわらノーロード 国内債券			○	○					
たわらノーロード 先進国債券			○	○	○				
たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>			○	○	○				
たわらノーロード 国内リート		○	○	○		○			
たわらノーロード 先進国リート		○	○	○	○	○			
たわらノーロード 先進国リート<為替ヘッジあり>		○	○	○	○	○			
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード バランス(堅実型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード バランス(標準型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード バランス(積極型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	●	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	○	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	○	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	○	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	○	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	○	○	○	○	○	○		○	○
たわらノーロード plus 国内株式高配当最小分散戦略	○	○	○				○		
たわらノーロード plus 新興国株式低ボラティリティ高配当戦略	○	○	○		○			○	
たわらノーロード 先進国株式<ラップ向け>	○	○	○		○				
たわらノーロード 新興国株式<ラップ向け>	○	○	○					○	
たわらノーロード 先進国債券<ラップ向け>			○	○	○				
たわらノーロード 国内リート<ラップ向け>		○	○	○		○			
たわらノーロード 先進国リート<ラップ向け>		○	○	○	○	○			

※  「つみたてNISA」対象ファンド

■ お客さまにご負担いただく手数料等について

	購入時手数料	信託財産留保額	運用管理費用(信託報酬)
たわらノーロード	ありません。	「たわらノーロード 新興国株式」「たわらノーロード 新興国株式<ラップ向け>」は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 その他のファンドはありません。	信託財産の純資産総額に対して 上限年率0.55% (税抜0.50%)
plus 国内株式高配当最小分散戦略		換金申込受付日の基準価額に 0.1%の率を乗じて得た額	信託財産の純資産総額に対して 上限年率0.99% (税抜0.90%)
plus 新興国株式低ボラティリティ高配当戦略		換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額	

その他の費用・手数料：組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。（その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。）

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。※上記手数料等の合計額、その上限額等については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。※上場不動産投資信託（リート）は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託（リート）の費用は表示しておりません。詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ファンドの商品分類

ファンド名	商品分類
たわらノーロード 日経 225、たわらノーロード TOPIX	追加型投信／国内／株式（インデックス型）
たわらノーロード 先進国株式、たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>、たわらノーロード NYダウ、たわらノーロード 新興国株式、たわらノーロード 先進国株式<ラップ向け>、たわらノーロード 新興国株式<ラップ向け>	追加型投信／海外／株式（インデックス型）
たわらノーロード 全世界株式	追加型投信／内外／株式（インデックス型）
たわらノーロード 国内債券	追加型投信／国内／債券（インデックス型）
たわらノーロード 先進国債券、たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>、たわらノーロード 先進国債券<ラップ向け>	追加型投信／海外／債券（インデックス型）
たわらノーロード 国内リート、たわらノーロード 国内リート<ラップ向け>	追加型投信／国内／不動産投信（インデックス型）
たわらノーロード 先進国リート、たわらノーロード 先進国リート<為替ヘッジあり>、たわらノーロード 先進国リート<ラップ向け>	追加型投信／海外／不動産投信（インデックス型）
たわらノーロード バランス（8資産均等型）、たわらノーロード バランス（堅実型）／（標準型）／（積極型）、たわらノーロード 最適化バランス（保守型）／（安定型）／（安定成長型）／（成長型）／（積極型）、たわらノーロード スマートグローバルバランス（保守型）／（安定型）／（安定成長型）／（成長型）／（積極型）	追加型投信／内外／資産複合
たわらノーロード plus 国内株式高配当最小分散戦略	追加型投信／国内／株式
たわらノーロード plus 新興国株式低ボラティリティ高配当戦略	追加型投信／海外／株式

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。
- お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点（2021年1月7日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証及び利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【関係法人】

- 委託会社：（商号等）アセットマネジメント One 株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 324 号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
（照会先）【コールセンター】0120-104-694（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）
【ホームページ】 <http://www.am-one.co.jp/>
- 受託会社：みずほ信託銀行株式会社
- 販売会社：詳しくはアセットマネジメント One の Web サイトでご確認ください。
- 投資顧問会社：「たわらノーロード plus 国内株式高配当最小分散戦略」の主要投資対象である「国内株式高配当最小分散戦略マザーファンド」は、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社の助言を受けます。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメント One 株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社および新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円（2020年9月末時点）とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。